

大分合同新聞

朝刊

www.oita-press.co.jp

5/15 水曜日

日本・モンゴル貿易 投資合同協に参加

県ベンチャー協

モンゴル・ウランバートル市で開かれた「日本・モンゴル貿易投資官民合同協議会」に、NPO法人県ベンチャー協議会の池辺和寿理事長が出席した。県内からの出席は初めてという。会議はビジネス上の課題について意見を交わし、具体的な解決法を模索する目的で日本、モンゴル両政府が開催。両国の政府、経済団体関係者など約130人

が参加した。県ベンチャー協議会は以前から経済交流をしていたため招待された。展示会もあり、池辺理



展示会で床暖房のブースに集まる協議会参加者

事長は電子瞬間湯沸かし器を応用した床暖房を出品した。

モンゴルは鉱物資源が豊富だが、技術者の不足が問題になっている。市場規模がそれほど大きくないため日本の大手企業よりも中小企業に適しているという。

池辺理事長は「県内企業は海外ビジネスを大手商社などに任せる傾向がある。協議会で今回の内容を報告し、積極的な市場開拓を促していきたい」と話している。

紡績の競争力

向上へ官民会合

日本・モンゴル

日本とモンゴルの政府・産業界は2日、日本企業による対モンゴル投資の促進や産業振興策などを協議する「貿易投資官民合同協議会」の第2回会合を来月10日、ウランバートルで開催する方向で調整に入った。カシミヤなどを使った紡績製品の国際競争力向上が主要議題となる見通し。日本政府と産業界は、モンゴルが望む産業振興への協力を糸口に、両国関係の強化を目指す。モンゴルは銅やウラン、タングステンなど鉱物資源が豊富とされるため、中長期的な資源確保にもつながると期待される上、北朝鮮と独自のパイプを持つ同国と緊密に連絡を取り合うことは、北東アジアの安全保障の観点からも有益とみている。